

令和8年度新潟大学農学部学校推薦型選抜  
流域環境学プログラム

小論文課題

新潟県は錦鯉の発祥地として知られ、地域の自然環境と人々の営みが一体となってその文化を育んできた。錦鯉の養殖には清浄な水や安定した気候が不可欠であり、森林や農地を含む流域全体の環境管理と深く結びついている。そのため、気候変動や土地利用の変化、水質汚濁などの課題は、錦鯉養殖の持続性に影響を及ぼす可能性がある。錦鯉は「泳ぐ宝石」とも呼ばれ、新潟県の伝統文化として国内外で高く評価されている。その美しさは地域の誇りであると同時に、観光や国際交流を通じて地域経済にも貢献している。しかし、後継者不足や環境変化、グローバル市場での競争など、錦鯉文化の継承には多くの課題がある。

これらに関連して、下記の設問ⅠおよびⅡに解答せよ。

Ⅰ. 錦鯉養殖を持続可能な地域産業として発展させるためには、流域環境の保全とどのように調和させる必要があるか。農業、林業、水資源管理、地域社会の役割などを踏まえて、あなたの考えを解答用紙 No.1 を用いて 400 字以内で述べよ。

※以下の語句を必要に応じて用いて解答しても良い。また、具体例をあげて説明しても良い。

流域管理、水質保全、中山間地域、持続可能な農業

Ⅱ. 錦鯉文化を次世代に継承し、地域社会の持続的な発展につなげるためには、どのような取り組みが必要と考えられるか。教育、地域資源の活用、環境保全、国際展開、地域住民の参画などの観点から、あなたの構想を解答用紙 No.2 を用いて 400 字以内で述べよ。

※以下の語句を必要に応じて用いて解答しても良い。また、具体例をあげて説明しても良い。

地域ブランド、環境教育、後継者育成、国際交流、地域資源の価値化